

第5回 電子情報化委員会 議事録（抜粋）

日 時：2003年3月24日（月）15:00～18:30

場 所：JCI 会議室

出席者：丸山委員長，中村幹事，岸本，斎藤，柄，馬場，日比野，森の各委員，
（事務局）井上，戸口，藤野，山下，（KCC）窪田

配布資料：

- 5-0 電子情報化委員会（第5回）議事次第
- 5-1 第4回電子情報化委員会議事録（案）
- 5-2 JCI年次大会論文査読者へのアンケート結果
- 5-3 CD-ROM版論文集の改善点に関する検討
- 5-4-1 電子決済に係る調査報告書
- 5-4-2 電子決済システムに関するご報告
- 5-5 戦略WGメモ
- 5-6 外部査読員データベース更新システムについて
- 5-7 研究委員会報告書の電子化に関する検討

議 事：

1. 前回議事録の確認

第4回電子情報化委員会議事録（案）の確認を行った。

- ・丸山委員長から、締切り直前に投稿が集中するのを緩和する必要があると、会告で注意を促すなどの対策を高知大会（仮称）で忘れずに行う必要があることが指摘された。また関連して、高知大会（仮称）の年間スケジュールを事務局が作成し、委員会として事前に確認をしておくこととした。

2. 年次大会関係作業について

日比野委員より CD-ROM 版論文集の改善点に関して説明があった。

- ・電子情報化委員会から京都大会講演部会に改善点を提案している。
- ・京都大会講演部会の会合が3月25日（火）に開催される予定であり、この会合で CD-ROM 版論文集の内容について検討される。検討結果は馬場先生より後日連絡。
- ・講演部会の決定を受けて KCC で修正作業を行なう。
- ・複数年検索は先送りしても構わないとした。
- ・年次大会の電子化に関して講演部会が大会後にアンケート調査を行なう予定。

3. JCI年次大会論文査読者へのアンケート

事務局より論文査読者へのアンケートの結果が報告された。

- ・査読者約440名中269件の返信があった。
- ・紙面による審査結果の返信を行なった査読者は二名であった。
- ・約300件の論文が朱書き入りで返信された。
- ・この結果を査読委員会にも報告する。
- ・ダウンロード方式の可否について事前にアンケート調査を行なう。査読者 DB の更新と合わせて行なう。

4. 電子決済に関する調査報告

KCC より電子決済に係る調査報告の説明があった。

- ・e-チケットシステムを導入する場合、現行の法規を遵守するとポイントの取扱いが煩雑となる。利便性と法規遵守のバランスを考慮する必要がある。
- ・レジメの現状の考察では、発生件数の合計も入れる。

5. 電子化項目の検討

中村幹事より3月5日に開催された戦略WGの概要が報告された。

- ・JCIで提供しているサービスの電子化を優先度と実現性に基づいて評価した。
- ・コンテンツの充実が必要。研究委員会報告とシンポジウム論文集のCD-ROM化を優先して行なう。
- ・会誌およびコンクリート工学論文集の現行の電子化が進む方策をWGで検討することになった。

6. 外部査読データベースについて

森委員より外部査読者データベースの更新システムに関して説明があった。

- ・査読者がWebから自身のデータを更新できるシステムを導入する。
- ・ダウンロード方式の可否に関する項目を追加する。
- ・セキュリティー対策、SSLを導入する。
- ・高知大会（仮称）で新たに加わる投稿申込み部門を専門キーワードに追加する。

7. 査読システムについて

・査読システムに関するアンケート調査を査読委員会に依頼する。原案は4月初旬に作成。査読WGで査読システムと外部査読データベースについて一括して検討する。

7. 委員会報告書の電子化について

日比野委員より研究委員会報告書の電子化に関する検討事項の説明があった。

- ・印刷版と同じものを提供できるようにすべての内容をpdf形式で保存する。
- ・目次はhtml形式とし、本体へのハイパーリンクを設定する。
- ・readme.txtの雛型を事務局で作成する。
- ・ページ番号を挿入できるようにする。
- ・pdf原稿を事務局でチェックし、できるだけ高品質なファイルを収録する。

8. 次回日程

次回委員会を6月10日（火）15：00～18：00に新旧委員合同で行なう。

以上